

トロンボーン アドバイザー



中沢 誠二

宇都宮市出身。中学のオーケストラクラブ(陽北中学校)でトロンボーンを始める。宇都宮短期大学附属高等学校夏の講習会で音楽科の高校生だった藤澤伸行氏(後に名古屋フィルハーモニー交響楽団首席トロンボーン)に手ほどきを受け、後に関根五郎氏(元 NHK 交響楽団トロンボーン奏者、前宇都宮短期大学講師)に師事。宇都宮短期大学附属高等学校音楽入学。卒業演奏会出演。武蔵野音楽大学入学。クルト・ブツケ氏(元ハンブルク交響楽団名誉トロンボーン奏者)坂本辰則氏(元読売日本交響楽団出席トロンボーン奏者)に師事。在学中は武蔵野音楽大学オーケストラのトロンボーン首席奏者として定期演奏会に出演。日本国内の演奏旅行、1ヵ月に及ぶヨーロッパ演奏旅行に参加。

また武蔵野ウインドアンサンブルではユーフォニアム奏者として定期演奏会、国内の演奏旅行に参加。在学中に新星日本交響楽団(現在東京フィルハーモニー交響楽団)のメンバーとなる。武蔵野音楽大学卒業演奏会出演。NHKFM 午後のリサイタルに出演。マウスピースの研究を重ね、金属アレルギーの演奏者にも定評があるステンレス製のマウスピースをアメリカのステンレスマウスピースメーカーGiddings より Seiji Nakazawa モデルをリリース。

<https://www.gwmouthpieces.com/collections/trombone/products/seiji-nakazawa-tenor-trombone-mouthpiece>

39年間勤めた東京フィルハーモニー交響楽団を定年退職。

現在、宇都宮短期大学音楽科・同附属高等学校音楽科講師。

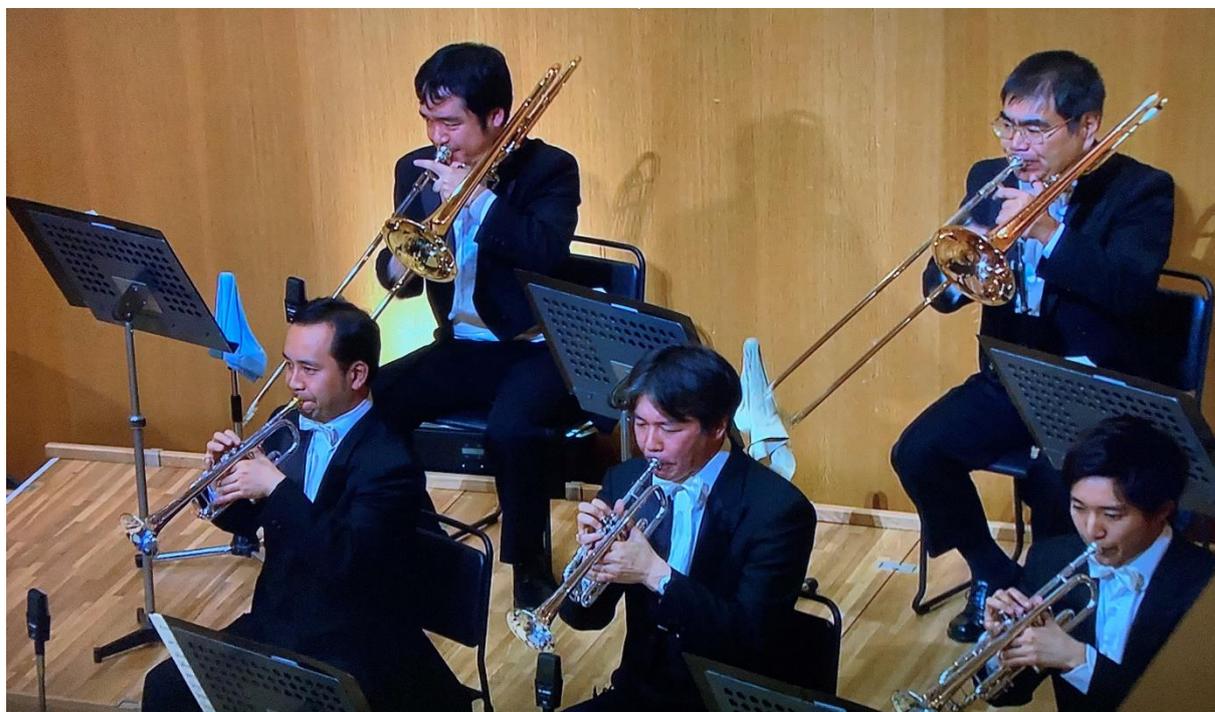


トロンボーン(金管楽器)を演奏するみなさまへ

1. 違う楽器演奏者のアドバイスを受けてみよう！

自分がトロンボーン奏者だったら、トロンボーン仲間や金管仲間たちの話はもちろん、打楽器や木管楽器、オーケストラだったら弦楽器奏者の話も聞いてみよう！

ブレスに左右されがちなフレーズも楽器が違るとまた違う解釈があるかも知れません。楽器によって違った音の出し方など新しい発見があるはず。



2. 第 3 の音を出そう！

アンサンブルは音程やリズムを合わせる事ばかり集中しがち。

それを越えた第 3 の音を追求しよう。

例えばトロンボーンがチェロと一緒に演奏した時、トロンボーンとチェロの音が溶け合って2つの音を越えた第 3 の音を造りだそう。



トロンボーン(金管楽器)はとても大きな音が出る楽器

しっかりした音を意識するあまりに全体のバランスを崩す様な事が有っては台無しだ。

大きな音はもちろん大切、そして木管楽器や弦楽器を下から支えるような溶け込む音も大切。

仲間たちの意見を聞いてみよう。

アドバイスをしてくれた仲間たちはステージでも強力にアシストしてくれる事でしょう。

